



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年8月11日朝刊

プラごみ

熱海2団体 プロジェクト始動



熱海市でマリナー委託事業などを手掛ける熱海マリンサービスの代表と、未来創造部（光村智弘）と市のグリーンエネルギー推進協議

ネット張り適正処理

熱海市でマリナー委託事業などを手掛ける熱海マリンサービスの代表と、未来創造部（光村智弘）と市のグリーンエネルギー推進協議会（井手由紀雄代表）はこのほど、プラスチックごみの海洋流出防止を図る「プラキャッチプロジェクト」を同市中心部を流れる系川の河口で始めた。プロジェクトは、幅約22分の河口を横断するようにネットを張り、流れてきたプラごみを受け止めて適正処理する。魚の遡上（そじょう）を阻害しないよう、ネットの深さは約1分にした。海洋プラごみ対策

海洋プラスチックごみの流出を防ぐネットを張る関係者＝熱海市の系川河口
は、国連の掲げる持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた課題の一つ。未来創造部によると、海外では水車の力で水中のごみをすくい上げて運搬船に寄せたり、水路の底から気泡を発生させてごみを浮上させて収集したりする対策が本格化しつつあるが、日本は遅れているという。同部の光村代表は「海岸にたどり着くごみはごく一部にすぎない。目に見える取り組みを通じて、多くの人々が問題意識を持つてほしい」と話した。今後は海洋プラごみ対策をテーマにした環境教育プログラムの展開も目指している。（熱海支局・豊竹喬）

- ①始動したプロジェクトの名前を書きましょう。（ **プラキャッチプロジェクト** ）
- ②このプロジェクトの目的は何ですか。（ **プラスチックごみの海洋流出防止** ）
- ③記事の口々に、このプロジェクトでは「プラごみをどうするのか」について見出しとして入れたいと思います。その見出しを考え、10字以内で書きましょう。

**（例）河口でキャッチ（7字）、ネットで受け止め（8字）
海への流出ストップ（9字） など**

- ④海洋プラごみ対策など、国連の掲げる持続可能な17の開発目標の略称（英語の頭文字）を書きましょう。（ **SDGs** ）

年 組 名前